

## 琉球大学医学部 設置の目的・設置の趣旨・基本理念

昭和55年作成琉球大学医学部設置計画書に記載の設置の目的・設置の趣旨・基本理念は以下のとおりである。

### 設置の目的（設置計画書「1. 大学等の概要を記載した書類」より抜粋）

本学は、医学と保健学に関する専門の学術を教授研究し、知識及び技術を授け、医師・医療技術者として必要な教育を行い、見識と教養を備えた人格者を育成し、もって国民の福祉と医療水準の向上に貢献するとともに、沖縄県のおかれた困難な地域医療の充実に寄与する。また、本学部は我が国最南端の亜熱帯環境に位置しているため、同条件下の環境医学あるいは熱帯医学に特色をおいた研究教育機関として発展させる。

### 設置の趣旨（設置計画書「2. 設置の趣旨」より抜粋）

沖縄県の医師及び医療施設数は、全国平均の約2分の1と低く、しかも多数の離島・へき地を有し、医療の確保が極めて困難な状況にある。そのため、琉球大学医学部の設置は、県民が多年願望してきたところである。

本学部は、総合大学の一翼として医学の教育、研究並びに診療の中核機関としての役割を果たすとともに医の倫理を身につけ、医学の進歩に柔軟に対応しうる医師・医療技術者を育成する。

また、本県の地理的及び歴史的基盤の上に、南に開かれた国際性豊かな医学部を創設し、もって東南アジアを主とする諸外国との学術交流にも寄与する。

### 基本理念（設置計画書「3. 琉球大学医学部の基本構想」より抜粋）

医学教育、医学研究及び医療が有機的に連けいし、総合的に運営され、医の倫理を身につけ、医学の進歩に柔軟に対応しうる医師・医療技術者の育成を目的とする。また、沖縄県のおかれた自然的、地理的及び歴史的条件を踏まえた特色ある医学部を創設し、広くは人類の福祉、医学・医療の向上発展に貢献するとともに、島嶼環境等に由来する困難な地域医療の充実に努める。他方、南に開かれた国際性豊かな医学部として南方諸国との交流に寄与する。